

日本語教育機関のための
自己点検・自己評価項目

2025 年 3 月 31 日

Hosanna Academy 株式会社
ホサナ日本語学院 東京校

自己点検及び評価

ホサナ日本語学院東京校（以下「当校」という）は、自らの教育活動、学校運営について目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について定期的に自己点検・評価を行う。当校は、その結果をもとに組織的・継続的に改善措置を講じ、日本語教育機関として質の高い教育を保証し、その向上を図っていく。

また、自己点検・評価の実施とその結果の公表により、当校学生、学生を支援する家族、保証人、経費支弁者、学生を支える多くの関係者、地域の方々に対し適切に説明責任を果たすとともに、そうした方々から理解と参画を得て、よりよい学校づくりを進めていく。

点検及び評価は毎年2月に行い、3月までに対策する新年度事業計画にその改善活動を盛り込むものとする。点検・評価委員会は、校長、専任教員、生活指導担当職員、在籍管理事務担当職員を構成委員とし、専任教員のうち主任教員を委員長とする。点検・評価報告書は、学校設置者たる Hosanna Academy 株式会社 代表取締役役に報告し、当校ホームページに掲載し公表する。

報告書には、各点検小項目に対して、①現状認識・評価、②その根拠、③課題と対策、④特記事項を記載する。点検大項目には、①総括評価、②特記事項を記載する。

<点検項目>

ホサナ日本語学院東京校 点検・評価委員会 評価基準

5. 達成している。
4. ほぼ達成しているが不十分なところがあり、改善に取り組んでいる。
3. どちらとも言えない。
2. 達成に向けて取り組んでいる。
1. 達成できていない/必要性に気が付いていなかった。

1. 教育理念・目的・育成人材像	評価 5
①教育を行う理念は何かを理解し、目標を達成するような行動をしている。	5
②教育目的は何かを理解し、目標を達成するような行動をしている。	5
③育成する人材像はどんなものかを理解し、目標を達成するような行動をしている。	4
④理念・目的・育成人材像は会社のニーズに合致しているか。	4
⑤理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法は何かを設定し、理解した上で、目標を達成するような行動をしている。	4
⑥理念・目的・育成人材像は教職員に周知されているか。	5
⑦理念・目的・育成人材像は生徒募集に結びついているか。	4

⑧理念・目的・育成人材像は修了生に体现されたか。	5
【現状・具体的な取り組み】 ・年4回の全体会議で常勤、非常勤講師全員で教育目標等を確認し、どのように達成していくかを検討している。 ・学生募集では学生の入学前にスカイプ、ZOOM等で面接試験をし、厳選している。 ・卒業生はほぼ進学、就職を決め、結果を出している。	

2. 学校運営	評価 5
①運営体制は日本語教育機関の告示基準を満たしているか。	5
②学校の運営方針、事業計画は理念・目的に沿っているか。	4
③運営組織とその構成員は効率的に機能しているか。	5
④意思決定の階層・プロセス・権限は明確か。	5
⑤学校の運営方針・事業計画は教職員に明示され理解されているか。	4
⑥学校の運営方針・事業計画は達成されたか。	5
⑦業務の効率化を図るしくみあるか。	4
⑧学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか。	5
⑨人事考課制度は整備されているか。	4
⑩賃金制度は整備されているか。	5
⑪採用、登用制度は整備されているか。	5
【現状・具体的な取り組み】 ・月4回の常勤会議にて教職員全員で告示基準の確認をしている。 ・各部署の長を中心に人材の適切な配置を行っている。	

3. 教育活動	評価 5
①各コースの教育目標は教育期間に照らして到達することが可能なレベルになっているか。	4
②各コースのカリキュラムは目標達成に向け十分な内容かつ体系的編成になっているか。	4
③カリキュラムを編成する体制は明確になっているか。	5
④カリキュラムを定期的に見直しているか。	5
⑤各科目はカリキュラムの中で適正に位置づけられているか。	5
⑥各科目にはシラバスが作成されているか。	5
⑦授業内容の設計や教授法等の現状について把握・評価する体制があるか。	4
⑧教員は必要な専門性、人間性、教授力、資格等を備えているか。	5

⑨教員の専門性を適宜把握し、評価しているか。	5
⑩教員の専門性を向上させる研修を行っているか。	4
⑪教員の教授力を適宜把握し、評価しているか。	4
⑫教員の教授力を向上させる研修を行っているか。	4
⑬教員間で適切に協業しているか。	4
⑭非常勤講師間で適切に協業しているか。	5
⑮非常勤講師の採用基準は明確か。	5
⑯成績評価、進級、修了の判定基準は明確か。	5
⑰成績評価、進級、修了の判定基準は適切に運用されているか。	5
⑱目標とする資格（日本語能力試験合格）はカリキュラム上で明確か。	4
⑲目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか。	4
【現状・具体的な取り組み】 ・三か月に一回定期試験を行いその結果に応じたクラス変更を行っている。 ・成績評価には定期試験の結果だけでなく日々の授業態度、提出物の提出率等を含めた総合的な成績判定基準を設けている。 ・各クラスで学生たちに JLPT、EJU 等の各種試験の必要性について認知をさせ、その上でそれらの試験合格を目指したカリキュラム作成をしている。 ・定期的に教員の授業見学をし、評価した上で研修を行っている。 ・3 か月に 1 回、教員の中で勉強会を開催し、授業向上を図っている。 ・自習室と質問コーナーを設置している。 ・入学が遅れた学生にキャッチアップクラスを実施している。	

4. 教育成果	評価 5
① 資格取得（日本語能力試験合格）率の向上が図られているか。	4
②資格取得者数とその推移に関する情報を把握しているか。	5
③入退学者数とその推移に関する情報を把握しているか。	5
④退学率の低減が図られているか。	4
⑤修了生の社会的活躍を把握しているか。	4

【現状・具体的な取り組み】 ・資格取得に特化したカリキュラム作成を行い実施している。また、対策講座も実施し学生の資格取得を支援している。 ・資格取得率は試験を重ねるごとに向上している。 ・教員会議で非常勤講師とも資格取得率の共有を行い、改善点を模索している。	
--	--

5. 学生支援	評価 5
① 学生進路指導に関する体制が整備されているか。	4
② 学生進路指導は適切かつ有効に行われているか。	4
③ 生活相談に関する体制が整備されているか。	4
④ 生活相談は適切かつ有効に行われているか。	4
⑤学費の分納制度など生徒の経済的側面に対する支援ができているか。	5
⑥学生に奨学金や経費免除制度等の情報を適宜知らせているか。	5
⑦定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか。	5
⑧学生の健康管理を担う体制はあるか。	4
⑨学生からの健康相談等に応じる専門家がいますか。	4
⑩課外活動に対する支援体制はあるか。	5
⑪学生寮等の生活環境への支援は行われているか。	5
⑫保証人と適宜適切に連携しているか。	4
⑬同窓会が組織化され活発な活動をしているか。	3
⑭修了生をフォローアップする体制があるか。	5
⑮防災に対する体制が整備され、有効に機能しているか。	5
⑯災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか。	5
⑰災害が起きた場合に備えた保険等の措置は十分か。	5
⑱防災訓練を実施しているか。	5
【現状・具体的な取り組み】 ・定期的に健康検診を実施し、問題があった場合は適宜対応する体制が整えてある。 ・避難訓練を年1回実施した。 ・教室内での授業に留まらず、レジャー施設など電車の乗り方や道の尋ね方など生活で必要な学びと遊びを提供する体制がある。 ・校内には水、乾パンを常備し、シャワールームなども設置し災害の対策に励んでいる。 ・学生寮の管理、運営を外部委託し、担当者が定期的に点検を行い、問題があれば対応している。 ・防犯カメラを追加設置し、事故防止に努めている	

6. 教育環境	評価 5
①施設・設備は教育上の必要に対応できるよう整備されているか。	5
②施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか。	5
③施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか。	5
④教材はカリキュラムに沿ってその都度十分な内容が整えられているか。	5
⑤ 教材は常に開発・改良・使い方の工夫が検討されているか。	5

【現状・具体的な取り組み】 ・カリキュラムに応じた教材作成を行っている。施設に関しては各教室にプロジェクターやタイマー等、授業に必要なものを配備している。 ・学生に合わせて常に小テストを行いカリキュラムや教材等のレベルを変えている。
--

7. 学生の募集と受け入れ	評価 5
①学生募集活動は適切に行われているか。	5
②募集要項は入学希望者・経費支弁者等の立場に立った分かりやすいものになっているか。	5
③入学希望者等の問い合わせ、相談に対応する体制があるか。	5
④募集定員を満たす募集活動になっているか。	5
⑤学生の出身国ごとの在留資格認定証明書の交付率に関する情報をとその推移を把握しているか。	5
⑥学生の出身国ごとの資格取得実績、進路状況の情報を生かした募集活動を行っているか。	4
⑦募集活動において資格取得実績、修了生の活躍等の教育成果は伝えられているか。	5
⑧入学者選考は適切かつ公平な基準に基づき行われているか。	5
⑨入学者選考に関する情報とその推移をコースごとに把握しているか。	5
⑩選考料、入学金、授業料等は適切な額と言えるか。	5
⑪選考料、入学金、授業料等の納入状況は予定通りになっているか。	4
【現状・具体的な取り組み】 ・募集要項は学生に分かりやすく、金額等明確に母国語もつけ記載している。 ・選考料等は他校の価格も調査し、適切な価格設定を行っている。 ・ホームページからも入学希望者のメール対応を行っている。	

8. 財務	評価 5
① 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか。	4
② 主要な財務数値に関する情報とその推移を把握しているか。	4
③ 年度予算、事業計画は、目的・目標に照らして有効かつ妥当なものとなっているか。	4
④ 予算は計画に従って妥当に執行されているか。	3
⑤財務について会計監査が適切に行われているか。	5
【現状・具体的な取り組み】 ・安定していると言える。課外活動や教材費など予算を提出し、それに従って執行している。 ・財務担当者が毎月会計確認をしている。	

9. 法令遵守	評価 5
①入学希望者、在校生、修了生及び教職員等の個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	5
②個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか。	5
③学校の設置基準が遵守され、適正な運営がなされているか。	5
④教職員の労務管理に関して、法令が遵守されているか。	5
⑤自己点検と評価を定期的の実施し、問題点の解決に努めているか。	5
⑥自己点検と評価は公開されているか。	5
【現状・具体的な取り組み】 ・所轄警察署と連携を取りオリエンテーションにおいて。犯罪抑止、交通法規、法令順守を徹底している。 ゴミの出し方などの社会的ルール の周知に努めている。 ・むやみに SNS 上に個人情報の分かるもの（在留カード、給料明細等）を載せないことや、日本で生活する上で著しく風紀を乱す事のないよう指導している。 ・自己点検と評価は当校ホームページ上で公開している。	

10. 地域・社会貢献	評価 5
① 校舎や施設などを活用して地域・社会に貢献する活動を実施しているか。	4
② 近隣住民のためのボランティア活動、公開講座等に取り組んでいるか。	4
【現状・具体的な取り組み】 ・福生市の七夕祭りにボランティアとして参加した。 ・多摩工科高校との交流会を年1回行っている。 ・非常勤講師らの協力を得て、ホームステイを実施した。 ・多文化共生フェスに参加した。 ・TAMA 日本語学校協議会へ加入し、地域の日本語学校との連携を深めている。	

以上